

## 現役からの活動報告

### 1. 新入生勧誘活動のご報告

本年度も新歓活動についても昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に大学から対面での新歓活動を禁止されたことから、オンラインを中心とする新歓活動を実施しました。

具体的には、OB会のご支援のもと、勧誘活動のためのPV作成やSEO対策（ネット検索した際に上位表示されやすくするための施策）等を行い、3月よりTwitterやInstagramを通じて同志社大学の新入生をフォローし、DMを送付する方法や、「新入生お悩み相談会」を実施し、4月からは対面やオンラインのデモ演奏会を併用して行い、新入生とのコミュニケーションを図っていきました。

その結果、新入生として、男子部員6名、女子マネージャー2名がしました。男子部員のうち4名が合唱経験者であり、改めて同志社グリークラブのネームバリューの強さを実感した次第です。

現在秋学期も継続して新歓活動を行う予定をしていますが、来年度の新歓に向けての種まきとして、全国コンクール出場校や関西の有力合唱部、団員の出身校、同志社大学への推薦枠を有する高校の合唱部等宛にクラブの案内や過去の演奏会CDを送付することを予定しています。

引き続き人数増加に向けて尽力して参りますので何卒ご支援の程よろしくお願いいたします。

### 2. 「第18回同関交歓演奏会」のご報告

去る8月17日に22年ぶりの開催となる「第18回同関交歓演奏会」を執り行いました。

昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例年5月末頃に行われる京都合唱祭や、6月に予定していました東西四大学合唱演奏会が中止となってしまいました。そのため、この演奏会が現役にとって本年最初の本番となります。同関交歓演奏会まで中止となった場合には上半期に一度も本番を経験することなくなるため、何としても演奏会を開催させることを念頭に演奏会の準備を行ってまいりました。

しかしながら、その道のりは決して平坦なものではありませんでした。

新型コロナウイルス感染拡大の状況下にあっては、同志社大学と関西学院大学のそれぞれが設けた独自の開催基準をクリアする必要性がありました。特に関西学院大学側の規制が厳しく、演奏会本番の1週間前に、京都合唱連盟と兵庫県合唱連盟の共催という形で本演奏会を開催することを条件に、何とか本番開催を認めていただくことができました。

そのほかにも、当初アーカイブ配信を予定していたにもかかわらず、直前で関西学院グリークラブの演奏曲目において権利者から必要な許認可が得られていないものが判明し、なくなるとアーカイブ配信を取りやめることになりました（海外の権利団体との交渉を試みるも時間が足りませんでした）。また両大学の共通の規制として、緊急事態宣言が発令された場合には中止とすることが開催条件となっていたところ、直前に京都府が緊急事態宣言の発令を政府に要請したことであわや演奏会中止か、と肝を冷やしたり（その後政府の判断見送りにより事なきを得ました）と最後まで予断を許さない演奏会で、お客様にはご迷惑をおかけする場面もありましたが、何とか本番当日を迎え、お客様の前で演奏会を行うことができました。

改めまして、今般唐突なご依頼にも関わらず共催を認めていただきました京都府合唱連盟と兵庫県合唱連盟に感謝申し上げます（特に理事を務められる伊東技術顧問や事務局長の平成14年卒の山田先輩には様々なご配慮いただき感謝いたします）。

なにより、このような状況下で、本番当日ご来場・ご視聴いただきましたOBの皆様を始めとするお客様に厚く御礼申し上げます。

以上